

新設「岩谷学園ひがし北海道日本語学校」設置認可される

平成30年から着手していた新規事業「岩谷学園ひがし北海道日本語学校設立プロジェクト」が実を結び、昨年（令和2年）12月、道庁の学校認可を受け、本年（令和3年）4月開校できるところまでできました。

場所は北海道の道東、中標津町、校地面積14,173㎡、校舎面積741㎡鉄筋コンクリート構造平屋建て、校舎の外に体育館、グラウンド、教職員宿舎等を併設しています。設置学科は、外国人留学生を対象にした2年制の日本語科、総定員は100人です。

ノウハウネットワークをいかして、バングラデシュ、スリランカ、タイ、ウズベキスタンからの留学生を申請中です。中標津町は、日本有数の酪農地域で、緑色の牧草が広がる、北海道らしい風景を見ることができるところです。また中標津空港を擁するなど、地域の商業活動の中心地でもあります。開放的な地域住民、教育政策に熱心な行政機関、商業振興に積極的な商工団体等々、留学生を受け入れる環境の整った町です。

北海道にお出かけになる折には、是非、中標津町、そして学校にもお立ち寄りください。スタッフが熱烈歓迎いたします。



校舎(前景)



フリースペース



教室



体育館